

# チーム医療への取り組み 呼吸ケアチーム

## チーム医療

病院には医師・看護師・薬剤師・検査技師・事務員など、さまざまな医療スタッフが働いています。それぞれの専門分野での経験や知識、技術を集約して、総合的に効率よくきめ細かい良質な医療を患者さんに提供し、退院までをサポートするため、当院ではチームを結成しています（図1）。

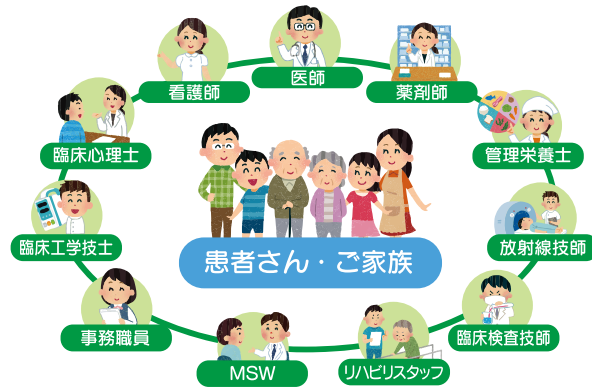


図1

| チーム名           | チームの役割                                        |
|----------------|-----------------------------------------------|
| NST（栄養サポート）チーム | 適切な栄養管理を行い全身状態の改善、合併症の予防を目指します                |
| 緩和ケアチーム        | がんによる身体の痛みや不快な症状をやわらげ、心のケアをします                |
| 褥瘡対策チーム        | 床ずれができないよう予防します<br>すでに床ずれを有して入院された患者さんの治療をします |
| 呼吸ケアチーム        | 人工呼吸器を装着した患者さんの呼吸状態の改善をはかります                  |
| 糖尿病ケアチーム       | 糖尿病患者さんの治療をサポートします                            |
| 摂食・嚥下ケアチーム     | 食べることや飲み込むことでお困りの患者さんをサポートします                 |
| 感染対策チーム        | 病院内での感染症の発生防止に努めます                            |
| せん妄・認知症ケアチーム   | 入院中のせん妄の予防に努めます<br>せん妄や認知症でお困りの患者さんをサポートします   |

## 呼吸ケアチーム

チームの1つに、「呼吸ケアチーム」があります。人工呼吸器を使用している患者さんに対し、1日でも早く人工呼吸器が外れるよう多職種で支援するチームです。呼吸ケアチームのメンバーは、医師・集中ケア認定看護師・臨床工学技士・理学療法士です。

## チームでの回診

週1回、チームで回診を行います。主治医や病棟看護師と一緒に、患者さんの状態を確認しながら、人工呼吸器を早期に外すための方法について各職種から意見を出し合い、カンファレンスを行います。それぞれの職種の役割として、医師は人工呼吸器の設定確認、臨床工学技士は人工呼吸器の点検、理学療法士は安静臥床による関節拘縮予防のためのリハビリテーション、集中ケア認定看護師は患者さんに必要な観察項目や継続した看護ケアのアドバイスを病棟スタッフに行っています。

## 集中ケア認定看護師による患者さん訪問

回診日以外は、集中ケア認定看護師が患者さんの訪問を行っています。人工呼吸器を使用している患者さんは、口に管が入っているため、声を出すことや唾を飲み込むこと、食事をするなど、自分で自由に体を動かすことができません。そのため、肺炎や関節拘縮などの合併症を起こしやすい状態にあり、口腔ケアやリハビリテーションが重要となります。更に、のどの痛みや違和感など多くの苦痛を抱えながら人工呼吸器を使用した治療を受けているため、苦痛を和らげる事も重要となります。集中ケア認定看護師は、これらの合併症予防や苦痛を最小限にして過ごすための具体的な方法を提案し、病棟看護師とともに実施しています。ご家族で困っていることや心配なことがありましたら、いつでも遠慮なくご相談ください。

## 診療部や看護部へ 院内研修を実施しています

呼吸ケアチームとして、患者さんへ専門的な治療にあたるほか、院内研修や勉強会を開催し、研修医や看護師の呼吸ケアに対する知識とスキルの向上を図っています。内容としては、機種別人工呼吸器の基本的な操作や、呼吸器系の観察方法（聴診・視診・触診）、また摂食・嚥下障害患者さんにおける事例をもとにグループワークを行ったりと様々です。



## ちょっと質問



集中ケア認定看護師  
寺山 響子

### Q なぜ集中ケア認定看護師になろうと思いましたか？

A 私は一般病棟から集中治療室に異動後、刻々と病状が変化する患者さんのアセスメント（評価）や病態を予測し重篤化を回避するための援助が必要であると知り、集中治療室での看護の奥深さを実感しました。日々看護の中で根拠のある質の高い看護を提供したいと考え資格を取得しました。

### Q 今後の意気込みをどうぞ

A 集中ケア認定看護師の資格取得後7年目になります。認定看護師として習得した知識や技術をもとに重篤な患者さんの回復する姿をみることで、やりがいを感じています。院内の横断的な関わりとして、呼吸ケアチームの活動は病棟スタッフと協力し、患者さんが元気になるためのお手伝いをしたいと考えています。

※1 静かに動かず横になっている状態のこと。  
※2 関節が動かなくなること。